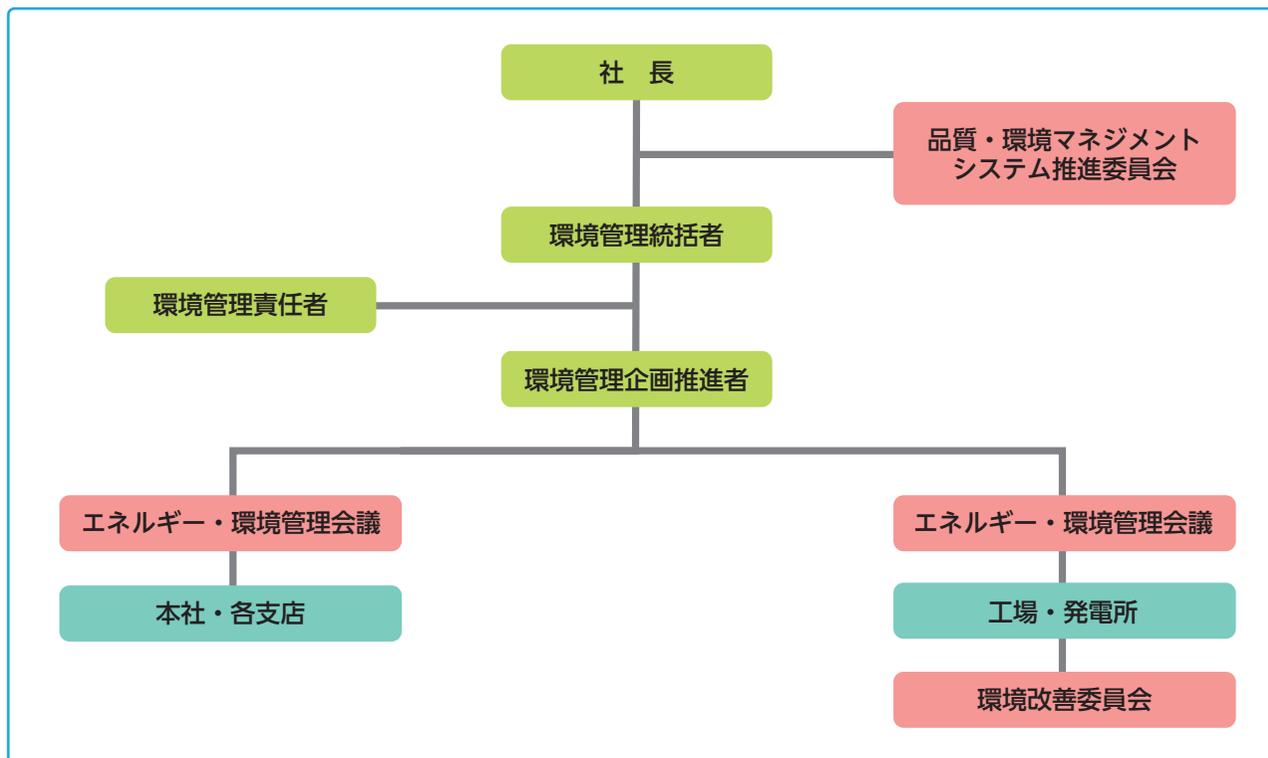


エネルギー・環境管理体制



(2024年3月31日現在)

環境方針

IHI原動機は地球環境保全への取り組みを経営の最重要課題の一つと位置付け、製品の開発、製造及びサービスが環境に与える影響と外部の環境状況が組織に影響を与える可能性を的確に捉え、環境に配慮した企業活動の下、製品及びサービスを提供することにより、全員参加で次世代のため豊かな地球環境の保全と社会の持続可能な発展に貢献することを環境の基本方針とします。

- (1) 省エネルギー・省資源を推進し、ライフサイクルを通して環境負荷を低減し脱炭素社会の実現に貢献する製品・サービスの開発・普及に努め、事業活動を通して継続的な自然と技術が調和する社会の構築と、廃棄物の削減と資源のリサイクルに取り組むとともに、地球温暖化の防止に努めます。
- (2) 環境側面に関連する法規制及び地域社会との協定等を順守し、化学物質の適切な管理とともに、環境負荷低減への継続的な改善を行い、環境汚染物質の流出防止のため予防処置を図り環境保護に努めます。
- (3) 本環境方針及び環境改善活動に関しては、環境報告書等で社内外に情報を発信し、地域社会及び広く当社を取り巻くステークホルダーとの共生を図ります。
- (4) ISO14001に適合した環境マネジメントシステムを各部門で構築し、維持するとともに、パフォーマンスを向上させるため、システムの継続的な改善を行います。
- (5) 本環境方針と整合する環境目標の設定及びレビューのための仕組みとして各層において期毎に到達すべき目標を設定し、その目標の達成に向けて努力します。
- (6) 本環境方針を当社及び関連する会社の全員に理解させて教育を通じて環境意識の向上に努めるとともに、この方針を適切に持続するため定期的にレビューを行います。

安全衛生方針

労働安全衛生は、会社経営において最も重要、かつ基本的事項の一つであり、従業員の安全と健康を守ることは、人間尊重の理念に立脚した会社の社会的責務である。

この基本的考え方にに基づき、職場における日常の安全衛生管理体制を一層強化し、特に管理監督者は常に危険に対する感受性を磨き、的確な安全指示をすることが必要である。

また、合わせて心身両面に亘る健康の保持増進のため、従業員一人ひとりが意識を高め、職場の安全は自ら守り、相互に指摘し合える風土を作ることで、全員参加のもと災害・疾病のない快適な職場環境作りを推進する。

- (1) 真のゼロ災害を目指すため、安全五原則を行動指針とし、経営者、従業員、協力員による全員参加のもと継続的な安全衛生活動に取り組みます。
- (2) 労働安全衛生法をはじめ関係する法令を遵守するとともに、会社および事業所で定めた安全衛生規程類に基づき従業員の安全衛生を確保します。
- (3) 従業員の疲労軽減および心と体の健康の保持増進を図ります。
- (4) 経営幹部や安全衛生委員などによる安全衛生パトロール、ヒヤリハット、労働災害事例からきめ細かく分析した結果に基づき毎年の重点課題や安全衛生計画を定め実行します。
- (5) 労働安全衛生マネジメントシステムに基づく安全衛生活動を推進し、リスクアセスメントにより職場の潜在的な危険、有害要因を根本的に取除き、「危険ゼロ」の職場を作ります。

環境目標

環境基本方針に基づき、生産部門においては生産活動における省エネや工数低減を主体に、前年度対比原単位当りの原油換算エネルギー使用量1%削減を環境目標に活動を展開しています。また、本社・支店等の事務所部門においては、ムダエネルギーの排除、室内温度の適正化など環境意識の向上を図り、電気使用量1%削減目標で活動しています。

EMS 活動

内部監査員教育の取り組み

2023年5月10日と11日、IPS品質保証部は、全社から46名に参加いただき、品質・環境内部監査員教育をWEB開催で行いました。2023年度は、コロナ禍のため中断していた模擬監査をロールプレイング形式で再開しました。また、各事業所とのリアルタイムのWEB開催も4年目を迎え、事務局である品質保証部と参加者とのコミュニケーションが、より活発になったと感じています。

参加者は、事務局が作成したオンデマンド用の音声付きの動画教材を事前に学習し、その上で集合研修に参加しました。研修当日は、架空の会社の監査チームの質疑応答状況を描いたケーススタディを用い、内部監査員の視点からの是正や改善、良好事例などを討議しました。

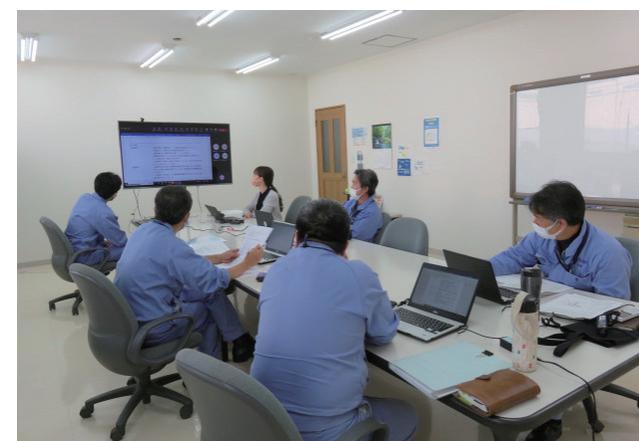
また、模擬監査として監査チーム役と被監査部門役を交代しながら、内部監査の流れをロールプレイングで体験しました。被監査部門役の代表者に、実際のマネジメントシステムで使用している記録帳票を準備してもらい、実際の監査に近い状況で訓練を行いました。

さらに、ケーススタディの模範解答の解説や模擬監査の所見報告発表、事務局からの講評を通じて、監査員の力量向上を図りました。

WEB開催により、参加者の移動時間の無駄の削減と、オンデマンド用教材を使用しているため、紙媒体教材の印刷と配布は廃止となり、資源の節約が図れています。これらの取り組みは、効率的な教育の提供だけでなく、環境負荷の軽減にも寄与しています。

これからも、内部監査を通じた環境マネジメントシステ

ムの改善と、環境保全への取り組みのさらなる浸透を目指していきます。



内部監査員教育の様子

IHIグループ省エネ担当者集合研修会

2023年10月19日と20日の両日、IHI人材開発交流センターのI-STEP湘南にて省エネ担当者集合研修会が開催され、IHI原動機・ニコ精密機器から7名参加しました。

この研修会の主旨は、省エネ法や原単位分析に関する理解と知識を含め、IHIグループ内省エネ担当者同士での省エネ事例発表や意見交換により自社での省エネ活動の進め方のヒントを得ることです。

主な内容としては、①IHIグループにおけるカーボンニュートラルの考え方について、②改正省エネ法の動向について、③省エネ・非化石転換施策についてのグループワーク、④空調設備・熱処理炉の省エネ余地発見についてのグループワークでした。

研修会ではIHIグループ内の他事業所でどのような省エネ施策や非化石転換を行っているか発表しあい、効果や実行した際の工夫点、どのようにして問題解決をしたか貴重な経験談を聞くことができました。また、省エネ余地発見のグループワークに関してはさまざまな視点からの意見が出て新たな考え方を得られるととても有意義な時間になりました。

今回学んだことは各事業所にて展開し、より良い改善活動ができるように検討していきたいと思えます。



研修会の様子



IHIグループ省エネ担当者集合研修会
(2023年10月19日、20日実施)